

耳（^{ちょうかく}聴覚）の^{かびんしょう}過敏症のおはなし

皆さんは、「^{かびんしょう}過敏症」って、知っているかな？

例えば、皆さんがよく知っている^{かふんしょう}花粉症も、^{けつえき}血液（^{めん}免疫）の^{かびんしょう}過敏症と言えるかもしれないね。そういう子も、クラスに何人かいるんじゃないかな（ホント、^{かふん}花粉の時期はつらいよね～）。

それが、耳（^{ちょうかく}聴覚）や目（^{しかく}視覚）にある子も、^{いがい}意外というんだよね。ここでは、耳の^{かびんしょう}過敏症についてのお話をするね。

耳の^{かびんしょう}過敏症のある子は、とっても耳が良くて、大事な音も、そうでない音も、自分で^{えら}選べずに受け取ってしまうんだ。だから、にぎやかな場所にずっといたり、苦手な音で不安になったりして、時々、学校をお休みしたくなるほど、すごく^{つか}疲れたり、^{なか}お腹が痛くなってしまうこともあるんだよ。



でも、例えば「イヤーマフ」という^{みみあ}耳当てや、^{みみせん}耳栓をすることで、少しラクになることがあるよ（大事なお話は、ちゃんと聞こえているよ）。だから、もし、クラスに^{かびんしょう}耳の過敏症で、イヤーマフや^{みみせん}耳栓を使っている子がいたら、^{かふんしょう}花粉症の人のマスクと同じようなモノと思ってね。

でも、もしかしたら、クラスの中には、学校をお休みするほどじゃなくても、耳が良いほうで、大きな音やザワザワした音がちょっぴり苦手な子も、何人か、いるんじゃないかな。



もし、今、教室がいつもとってもにぎやかだったとしたら、それは、^{かびんしょう}耳の過敏症のある子にとっては、^{かふんしょう}花粉症の人がスギ林の中にいるようなことかもしれないね（マスクだけじゃ、足りないかも！）。

皆が元気に楽しく過ごすのは、とってもステキなことだよ。

でも、もしも、^{かびんしょう}耳の過敏症のある子が、大きな音やにぎやかな場所で、「つらいなあ」と思っていたら、ほんの少しだけ、ご協力をお願いします。